

塩浜学園の先生方と若者たちへのメッセージ（第8弾）



塩浜学園新校舎落成記念式典に寄せて **塩浜学園校歌誕生のとき**

小中一貫校／義務教育学校「塩浜学園」が市川市に誕生！9年という時間をかけて子どもたちをじっくりと育てていく。そのような理想である学園の「校歌」を書きませんか？と初代の校長先生からお話をいただき、うれしくもあり一方心配なこともありましたが、「是非やらせてください」と返事をしたことが昨日のように思い出されます。

当時の9年生が、学校への思いや歴史など、多彩なフレーズを歌詞に託した原稿をいただき、作曲の作業にかかりました。どのようにしたらこの歌詞が生きるのか、熟考の日々が続きました。私なりに全身全霊をかけ、メロディラインを作り出しところで、校長先生から生徒が選択できるような形にならないかとの要望がありました。作曲したへ長調の緩やかなメロディラインのものに対して、ガラリと雰囲気を変え弾むようなト長調のメロディラインを作り上げ2曲を提案させていただきました。今思えば、へ長調のものは考えに考えた末に生み出したものでした。しかしながら後のト長調のものは、何かが私に降りてきたように感じ、筆がスムーズに進んだ印象が記憶に鮮明に残っています。この選択肢としての「もう一曲」の要望が逆に本当に良かったのかもしれません。

完成させなければならない期日が迫り、締め切りにドキドキしていた頃、2曲をアカペラでお披露目し、音楽科の先生に「どちらかを児童生徒が選択すること」

を託し、ト長調の現在のものに決定しました。スケッチ状態であったピアノパートの仕上げにその年の年末・年始をフルにつかい、ピアニストに指の動きやフレーズなどのアドバイスをいただきながら新年を迎え、校歌の完成となりました。校歌のメロディラインのリズムの秘密や楽曲の構成についての分析については、いずれまたの機会で……。

児童生徒の皆さん一人一人が、9年間毎年、歳を重ねることにより「校歌」を熟成させつつ未来に向かって全力で飛翔(はばた)かれるエールとなることを願ってやみません。

最後に、本日の新校舎落成記念式典が盛会でありますことを祈念しております。

令和3年10月29日 校歌の作曲者 からのメッセージ